

4月28日開催第6回『新しい資本主義実現会議』提出資料

東京大学 柳川範之

新しい資本主義の特徴

社会的課題解決

今まで 財政支出を通じて、公が対処

これから 民間資金を使って、民間が対処

市場経済・民間営利活動との両立

公はそれを可能にする環境整備

デジタル化・ビッグデータ等テクノロジー活用

デジタル田園都市構想

デジタル技術の活用により、時間と距離に縛られない働き方・活動が可能に

それを活用した、**民間企業や人々の働く場所・居住場所の変化が**

地方創生にとって大きな新しいチャンスを生む

そのためには

デジタル技術・オンラインの十分な活用環境

津々浦々に巡らせる 潜在的格差の是正にもつながる

移動コストの低減 移動のサブスク等の活用

多様な働き方を実現させる働き方改革

関係人口の活用

人材が様々な形で地域にかかわるようにする

地元と関係人口との積極的な交流がカギ

そのためのハブをそれぞれの地域がつくる

WEB3.0

技術革新を大きな市場に拡大させていく大きなチャンス

そのためには

行政のデジタル化、

マイナンバーカードの普及・マイナンバーシステムの確立が基本

規制のヨコ展開 アジャイルに規制を変えていく制度設計がカギ

ただし、そこにまったくの新天地があるわけではない

WEB3.0 を想定した規制改革をどこまで実現できるのか

既存の規制とどう整合性をとっていくのか

マネーロンダリング対策、税制の整合性

利用者保護、知的財産の枠組み

ベネフィットコーポレーション

社会的課題解決を利益確保と両立させる

両立させるだけではなく、社会的課題解決を通じて企業を成長させる

そういう社会起業家によるスタートアップを増やす

(当然、非営利活動も重要)

そのためには、

株主利益との優先順位を明確にした法人形態の仕組みづくりは、

この分野に焦点をあてる意味でも重要な取り組み

企業目的の明確化は重要

コンセプション

資金だけではなく**民間のチエを入れて、全体のパイを広げることが基本**

民間のチエが活かせるような規制改革とセットで

官民の適切なリスク分担のルール化も必要